

平成 29 年 9 月 平和台図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 9 月 28 日 (木) 14 時 50 分から 15 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 視聴覚室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」) 管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 平和台図書館指定管理者(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社) (以下「平」) 平和台図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ</p>
内容	<p>① 事業計画について</p> <p>(光) 以前、ティーンズコーナーの開架にかなり余裕があった。全体を通して現在の書架の状況は。</p> <p>→ (平) ティーンズコーナーは資料の面出しをしたり中学生に向けたお薦め本コーナーを作ったりしたので、棚は埋まっている状態。一般用の開架は全体としてまだ余裕を持たせてある。一方、子どもコーナーについては、団体貸出があるときは棚が空いた状態になるが、団体貸出がないときは棚がかなりきつい状態となってしまう。</p> <p>(光) 7 月開催の「バリアフリー映画会」について</p> <p>→ (平) 昨年度に引き続き 2 回目の開催で 51 名が参加した。音声ガイドに、セリフと状況説明の字幕が付いたバリアフリー映画を上映し、障害者も健常者も一緒に楽しめる映画会となった。前回参加された障害のある方が、今回も映画を見に来てくれた。障害のある方にも伝わるよう広報にも力を入れ、関係団体等へのお知らせのほか、地域情報誌にも案内を掲載した。情報誌の発行と事業の周知のタイミング合えば、今後も利用していきたい。</p> <p>(光) 8 月の読書通帳システムの導入に関する要望について</p> <p>→ (平) 過去にも何回かそうしたサービスを実施しているか聞かれたことがある。今回はカウンターで受けた要望だが、詳しい内容までは聞いていない。</p> <p>→ (光) 区ではそもそも貸出履歴を持っていないため、システムを導入しても資料の返却後は記帳する情報がない。過去に借りた資料が記帳されるイメージを持っている方もいるので注意が必要だ。</p> <p>(光) 8 月の特別展示「YoriDoriMidori 練馬区独立 70 周年記念」について</p> <p>→ (平) 昭和 22 年頃の平和台図書館周辺の写真、地域資料、関連行事のパンフレットの展示や名誉区民の紹介を行った。記念絵本「I Love 練馬あるある」やその原画を見ている方が多かった。</p> <p>(光) 8 月開催の「健康講座『塩』」について</p> <p>→ (平) 中高年向けに健康な食生活を提案しようと「減塩の工夫」をテーマに栄養士が講義を行った。減塩や栄養、健康食等の本も展示し、資料の利用促進につなげた。</p> <p>(光) 展示資料の貸出数が良いものと悪いものの理由について、何か気づいた点はあるか。</p> <p>→ (平) テーマによるところが大きいと思う。例えば 8 月の展示だと、「話し方いろいろ」は貸出が多かったが、「法律をもっと身近に」は貸出が少なかった。普段の生活の中で関心が高い事柄に関連する本は貸出が多くなると感じている。ただし、資料のテーマ展示は、</p>

普段手に取らないような本も知ってもらいたいということで行っているため、貸出数だけに重点を置いているわけではない。

② 児童サービス事業について

(光) 7月開催のこうさく会「夏にひんやり スノードーム」について

→ (平) 工作を通して、図書館に親しみを持ってもらうことを目的として開催した。展示資料の紹介や絵本のよみきかせを取り入れ好評だった。講師は図書館スタッフが行い、スノードームの作り方は所蔵資料を参考にした。

(光) 7月開催の「なつのおたのしみ会」について

→ (平) 大型絵本や人形劇を行った。定員を 80 名としていたが、会場の様子を見ながら入場していただき、101 名の参加となった。会場には竜が出てくる本を展示したが、半数以上が貸し出された。ポスター・チラシにより周知を行い多くの方に参加いただけた。

(光) 7月の展示「北町中学校の生徒が作った本の帯」について

→ (平) 生徒が授業で作った本の帯を借りて館に展示した。帯はダミーの本に付けて展示し、帯で紹介している本は、蔵書を陳列して貸出を促した。

(光) 8月の展示で自由研究に役立つ本や資料の展示をしていたが、貸出数も多く需要があったと感じた。来年度は、展示だけでなく、夏休みの自由研究を支援できるような事業の実施についても検討をお願いしたい。

→ (平) 承知した。

(光) 8月開催の「しらべるクイズ」について

→ (平) 3種類のグレードの問題用紙を配布し、全て正解した子には平和台図書館のキャラクター「へいわんクン」のシールをプレゼントした。目立つよう、こどもカウンターに用紙を用意しておいたので、多くの子供たちが手に取って参加してくれた。周知の際は、景品のシールを紹介する等して、多くの方に参加してもらえるよう工夫をした。館内資料で答えを導いてもらう事業なので、調べ学習の素地を育むことが出来たと感じている。中学生にも参加してもらいたかったが、実際には小学校低学年が中心となってしまった。

(光) 8月開催の「Hei! 手芸部」について

→ (平) 児童・生徒を対象にした手芸教室で、今回はマスコット作りを行った。所蔵資料を参考にし、小・中学生に興味を持ってもらえるようなものを選ぶようにしている。10代前半の利用者を育て、その後も図書館を利用してもらうことが目的。中学生の申し込みもあったが、小学生の申し込みで定員が埋まってしまった事が残念だった。今後は、小学生と中学生の申し込み枠を設ける等、受付方法を工夫したい。

(光) 夏休み期間中の支援員の活動状況は。

→ (平) 学校に出勤する日はなかったため、土曜・日曜や午後の忙しい時間帯を中心に図書館に出勤し、子どもコーナーの業務を担ってもらった。